

金沢再発見！教師用ガイドブック

はじめに

- ・この單元では、自分たちが住んでいる街や市を一番象徴的な言葉で表し、その象徴となる写真を探して撮影し、説明する活動を通して、住んでいるところの魅力を再認識することが最終的なねらいです。
- ・もっとも効果的なアングルで、アピール度の高い写真を撮ることをねらいとし、たくさんの写真の中から1枚だけを選んで、制作者の思いが入ったホームページを作成する。
- ・取材のための計画、インタビュー、先方との交渉も必要な力となってきます。教師がすべてお膳立てするのではなく、困ったときのアドバイザーとしての立場で接してください。

各ステップにおける留意点

step 1 「金沢」からイメージする言葉を連想しよう

「金沢」という言葉からイメージする言葉を書き出してみよう

- ・市や街全体を表す言葉はなかなかでてこないかもしれません。児童によっては非常にローカルな言葉が出るかもしれません。それはその子の生活経験に基づく言葉なので否定はせず、クラス全体の意見が出されたときにもっといい言葉がないかもう一度考え直す機会を作りましょう。

step 2 キーワードに関する画像をさがそう

金沢を代表する画像を探してみよう

- ・有名な観光地ならすぐ見つかりますが、探しても見つからないときは、本人がこれからその情報を出すのだという位置づけで話すことによって、その児童の動機は大変高まります。決して写真がなくてもやる気をなくさせないようにしましょう。

step 3 細かい計画表を作成し、デジカメの使い方をマスターしよう

同じイメージを持ったもの同士でグループを作る

- ・仲良しなどの友達がいるからなどという理由でグループを作らないようにする

細かい計画表を作成する

- ・計画に必要な資料はすべて教師がお膳立てするのではなく、地図などの最低限の情報は用意するが、極力児童自らの力で準備させてください。

デジカメの使い方を知る

- ・練習の場合も、テーマを持たせて撮影しましょう。観点があることによって、撮影された写真の評価をすることができます。それによって気をつける点などもはっきりします。

step 4 金沢らしさを調べに行こう

写真を撮ってインタビューをしよう

- ・かなり細かいグループグループに分かれるので、他の学年の先生や保護者の援助が必要である。1つのグループに1名の大人が望ましい。どうしても1名つけない場合は、同じ方面のグループの動向や緊急の連絡先を決めておくといいでしょう。

- ・大人が子どもを連れて行くという感じではなく、あくまでも困ったときのサポートに徹してください。インタビューもはじめは難しいので適宜アドバイスをしてあげましょう。

- ・写真は全部使い切るほど多く撮るようにすすめましょう・

step 5 集めた資料をもとに電子情報化しアドバイスし合おう

自分たちが新たに発見した金沢の魅力をまとめよう

・自分達が撮ってきたデジカメの写真をパソコンに入れ、たくさんの写真の中から一番いい写真を選ばせます。50枚撮ってきたら、その中の49枚は捨てることになるので、なぜその49枚を捨てたかの理由をはっきりさせて選ぶようにします。

他の児童のホームページに対するアドバイスをする

・自分一人ではなかなか、わかりやすい題名や説明を作ることは難しいので、ある程度できた段階で作った作品はお互いに評価する時間をもうけてください。その中で1人が4人ぐらいの児童の作品について評価できるようにしてください。

アドバイスをもとに直そう

・アドバイスをすべて受け入れる必要はないが、自分が納得した部分を中心に直そう。